

# miroボードレイアウト [オンライン版] アジャイルなふるまいを体感するワークショップ

[全体像]

2.ワークスペース

1.準備スペース

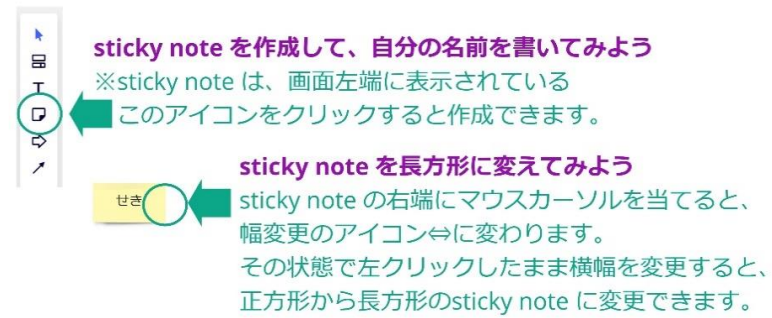


3.投票スペース

4.ふりかえりスペース

5.チェックアウトスペース

# [1.準備スペース]



miroの操作に慣れてもらうためのスペース  
を作成する

このエリアに自分の  
名前を書いたsticky  
noteを作ってください



## [2.ワークスペース]

### Aグループ

グループ毎にワークスペースを作成する

1)チェックイン



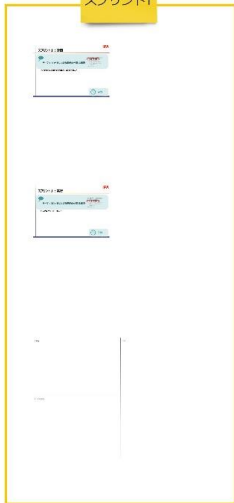
ゴール設定



2)ゴール設定（パターンを選ぼう！）



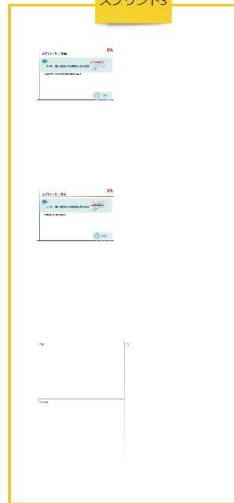
スプリント1



スプリント2



スプリント3



3)スプリント1～3

- ・計画
- ・実行
- ・ふりかえり

作品エリア



4)作品エリア

## [2.ワークスペース 1)チェックイン]

### 2. チェックイン

ブレイクアウトルーム

IPA

各グループで、お名前と「コロナ禍でどのように働き方が変わったか」についてお話しください。  
お話しした内容はmiroのチェックインframe内に記録してください。

今の気持ちと期待は？

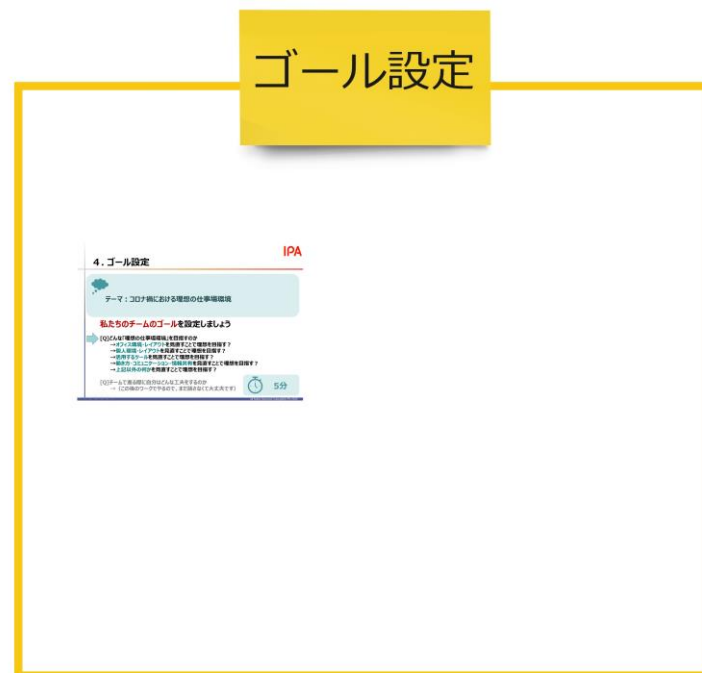
**zoom**  
ミュート解除、ビデオオンにしてください。

10分

All Rights Reserved Copyright© IPA 2020

# [2.ワークスペース 2)ゴール設定 (パターンを選ぼう！) ]

## ゴール設定



### ゴールに向かうためのパターンを選ぼう！

**ブレイクアウトルーム**

- 「トランスフォーメーションに対応するためのパターン・ランゲージ」の24パターン名を、グループメンバーで順に読み上げてください。
- 本日のワークの中で、自分が特に大切にしたい行動パターンを選び、グループ内で共有ください！

トラバタの24パターンの中から気になったものをコピーしてmicro:frame内に貼っていきください。近くに自分の名前を書いた付箋も置いてください。

10分

### トラバタ全体像・全24パターン

グループ	パターン
グループ1	B1 価値創造のためのシナリオ
	B2 枠を外して考える
	B3 実現のためのあらゆる可能性
	B4 顧客も知らない顧客
グループ2	B5 共感と覚悟から
	B6 データに価値を添える
	B7 未知を力に
	B8 常にアップデート
グループ3	B9 多文化の架け橋
	B10 チャレンジ特区
	B11 過剰適任
	B12 高速仮説検証サイクル
グループ4	C1 自律自主する組織
	C2 よこそ失敗
	C3 多様性が育む
	C4 共通言語で協働促進
グループ5	C5 “サクサク”と忙しい
	C6 知のシェアリングエコノミー
	C7 自分に問いを立てる
	C8 いつまでも学びたい力
グループ6	C9 人の輪、知恵の輪、ビジネスの輪
	C10 未来を創る
	C11 未来を創る
	C12 未来を創る

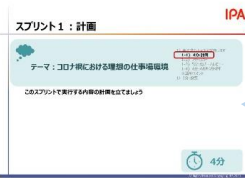
## パターンを選ぼう！



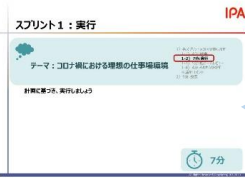
[2.ワークスペース 3)スプリント1～3]

スプリント1

計画



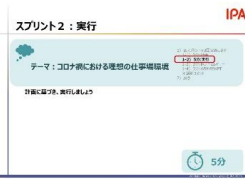
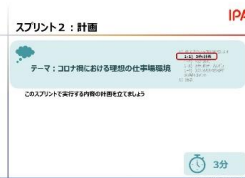
実行



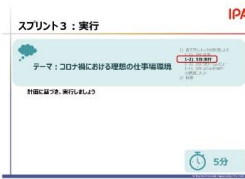
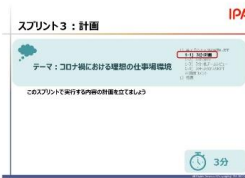
ふりかえり



スプリント2



スプリント3



スプリント毎にワークスペースを分ける

## [2.ワークスペース 4)作品エリア]

スプリント毎の成果物を作品エリアにコピーする

作品エリア



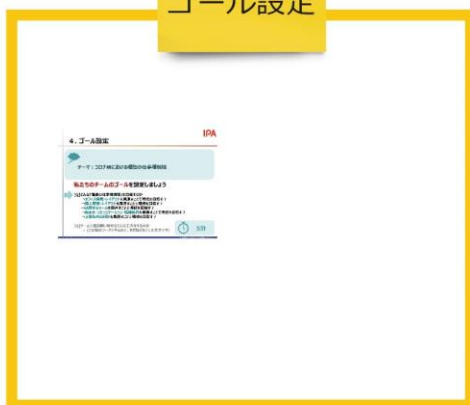


## [3.投票スペース]

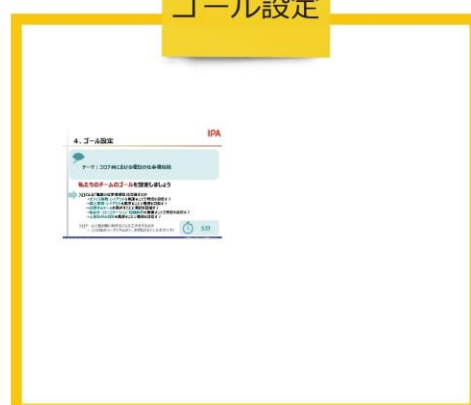
ゴール設定と作品エリアをコピーする

### 投票エリア

ゴール設定



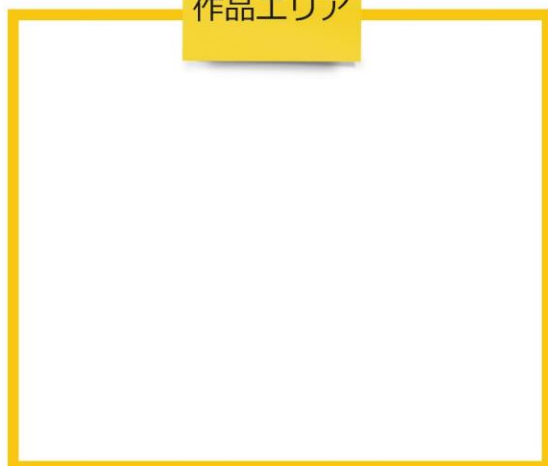
ゴール設定



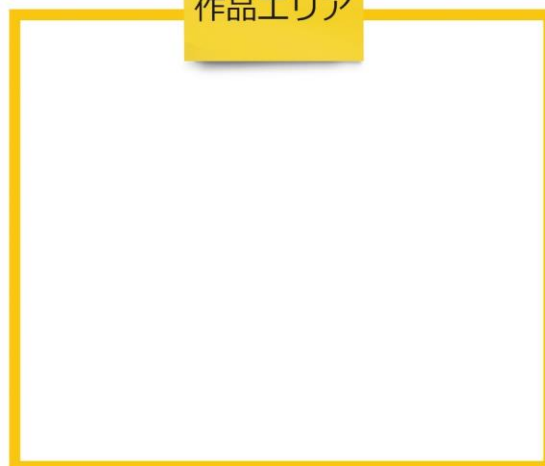
ゴール設定



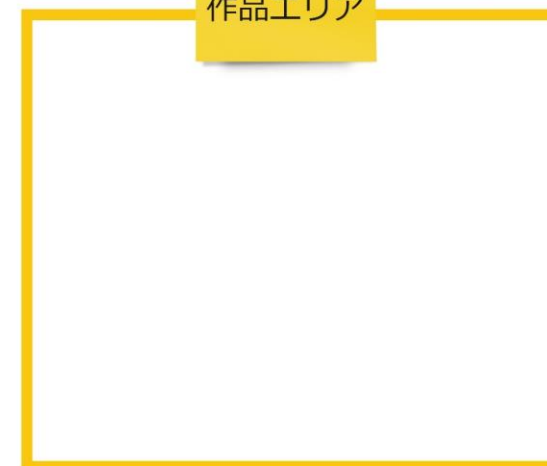
作品エリア



作品エリア



作品エリア





# [4.ふりかえりスペース]

## 全体ふりかえり

体感ワークの中でどのような行動(ふるまい)を取りましたか?  
また、その行動は、トランスフォーメーションに対応するための  
パターン・ランゲージの24パターンのどのパターンにあてはまりましたか?



A grid of 24 cards, each representing a pattern from the Pattern Language. Each card has a title, a small illustration, and a brief description of the pattern's purpose and application.

- A1 未来妄想力**: Illustration of a person thinking. Text: 未来を妄想することは、未来を創造するための第一歩である。未来を妄想することで、未来を創造するための具体的な行動を計画することができる。
- A2 社会課題は未来の芽**: Illustration of a tree with roots. Text: 社会課題は未来の芽である。社会課題を解決することで、未来の芽を育てることができる。
- A3 未来への羅針盤**: Illustration of a compass. Text: 未来への羅針盤は、未来を導くための指針である。未来への羅針盤を明確にすることで、未来を創造するための具体的な行動を計画することができる。
- B1 価値創造のためのシナリオ**: Illustration of a person writing. Text: 価値創造のためのシナリオは、未来を創造するための具体的な行動を計画するための指針である。
- B4 顧客も知らない顧客**: Illustration of a person thinking. Text: 顧客も知らない顧客は、未来を創造するための具体的な行動を計画するための指針である。
- B7 未知を力に**: Illustration of a person standing. Text: 未知を力にすることで、未来を創造するための具体的な行動を計画することができる。
- B10 チャレンジ特区**: Illustration of a person jumping. Text: チャレンジ特区は、未来を創造するための具体的な行動を計画するための指針である。
- B2 枠を外して考える**: Illustration of a person thinking. Text: 枠を外して考えることで、未来を創造するための具体的な行動を計画することができる。
- B5 共感発信から**: Illustration of a person thinking. Text: 共感発信からすることで、未来を創造するための具体的な行動を計画することができる。
- B8 常にアップデート**: Illustration of a person thinking. Text: 常にアップデートすることで、未来を創造するための具体的な行動を計画することができる。
- B11 適時適任**: Illustration of a person thinking. Text: 適時適任することで、未来を創造するための具体的な行動を計画することができる。
- B3 実現のためのあらゆる可能性**: Illustration of a person thinking. Text: 実現のためのあらゆる可能性を追求することで、未来を創造するための具体的な行動を計画することができる。
- B6 データに価値を語らせる**: Illustration of a person thinking. Text: データに価値を語らせることで、未来を創造するための具体的な行動を計画することができる。
- B9 多文化の架け橋**: Illustration of a person thinking. Text: 多文化の架け橋を築くことで、未来を創造するための具体的な行動を計画することができる。
- B12 高速仮検証サイクル**: Illustration of a person thinking. Text: 高速仮検証サイクルを構築することで、未来を創造するための具体的な行動を計画することができる。
- C1 自律自走する組織**: Illustration of a person thinking. Text: 自律自走する組織を構築することで、未来を創造するための具体的な行動を計画することができる。
- C4 共通言語で協働促進**: Illustration of a person thinking. Text: 共通言語で協働促進することで、未来を創造するための具体的な行動を計画することができる。
- C7 自分に問いを立てる**: Illustration of a person thinking. Text: 自分に問いを立てることで、未来を創造するための具体的な行動を計画することができる。
- C2 よこそ失敗**: Illustration of a person thinking. Text: よこそ失敗することで、未来を創造するための具体的な行動を計画することができる。
- C5 “サクサク”いきいき**: Illustration of a person thinking. Text: “サクサク”いきいきすることで、未来を創造するための具体的な行動を計画することができる。
- C8 いつまでも学びたい力**: Illustration of a person thinking. Text: いつまでも学びたい力を身につけることで、未来を創造するための具体的な行動を計画することができる。
- C3 多様性が育む**: Illustration of a person thinking. Text: 多様性が育むことで、未来を創造するための具体的な行動を計画することができる。
- C6 知のシェアリングエコノミー**: Illustration of a person thinking. Text: 知のシェアリングエコノミーを構築することで、未来を創造するための具体的な行動を計画することができる。
- C9 人の輪、知恵の輪、ビジネスの輪**: Illustration of a person thinking. Text: 人の輪、知恵の輪、ビジネスの輪を構築することで、未来を創造するための具体的な行動を計画することができる。

## [4.チェックアウトスペース]

IPA

### 7. チェックアウト（アクション宣言）



ご自身の活動に対する次へのアクションにたいして、  
どのような行動パターンで挑むか、付箋に書いて宣言しましょう！



5分

All Rights Reserved Copyright© IPA 2020